

# 秋保大滝植物園だより No.9 春号

園内に咲く四季折々の花や色とりどりの実、季節を告げる生きものなどの自然の情報を、季節をおってお届けします。  
今回は春です。尚、バックナンバーは(公財)仙台市公園緑地協会ホームページ「杜のひろば」よりダウンロードできます。



エゾムラサキツツジ【蝦夷紫躑躅】 花：4月初旬～下旬  
ツツジの中ではゲンカイツツジについて早く開花する。



ヒカゲツツジ (サワテラシ) 【日陰躑躅】 花：5月上旬～中旬  
淡黄色の花をつける。シャクナゲの仲間。



フキ【露】 花：3月～4月  
雌雄異株。雄株の花は黄白色、雌株の花は白い。植物園の春の使者



アズマイチゲ【東一華】 花：4月初旬～中旬  
白い花びらに見えるのは萼片。キクザキイチゲよりも葉の切れ込みが少ない



ウメ【梅】 品種 花：4月～5月  
花は葉に先立って開く。ウメはサクランボよりも早咲きが普通だが、植物園周辺では同じ時期に咲く。



ベニバナニシキウツギ【紅花二色空木】 花：5月 花はニシキウツギに似ているが、初めから紅色のままでは色は変化しない。



ウシハコベ【牛繁縷】 花：5月  
ハコベよりも大形。萼は紫色を帯びる。花びらは5枚だが、深く裂けているので10枚に見える。



ジシバリ (イワニガナ) 【地縛り】 花：5月～6月 地面を縛るように増えていくので、地縛りという名がついた。



ムレスズメ【群雀】 花：5月上旬～中旬 マメ科の特徴である蝶形花と豆果をつける。



ボケ【木槿】 品種 (寒更紗) 花：4月下～5月上 中国原産。実は黄色でウリに似ている。



シラネアオイ【白根葵】 花：5月上旬 1科1属1種の日本特産種。秋保でも野生はあるが自生地は減っている。



ワイルドストロベリー 花：5月 品種。食用のイチゴよりも全体に小ぶり。幸運を呼ぶといわれている。



フリルセイヨウイワナンテン【斑入り西洋岩南天】 花：5月下旬 ツツジ科の常緑低木。葉に斑が入っている品種。



マユミ【真弓】 花：5月中旬～ 淡緑色で目立たない小さな花を沢山つける。



マキノスミレ【牧野堇】 花：5月初旬～中旬 葉は長披針形ではほぼ垂直に立てるのが特徴的。



タイツリソウ (ケマンソウ) 【鯛釣草】 品種 花：5月上～下旬 花はハート形で可愛いですが、鯛に見立てられて名づけられた。



ハナカイドウ【花海棠】 品種 花：5月上～中旬 花弁は完全に開かないのが特徴



シロバナホソバシャクナゲ【白花細葉石楠花】 品種 花：5月中旬 一般的なホソバシャクナゲの花は紅紫色。名前の通り葉の幅が細い。



キジムシロ【雉筈】 花：5月上～下旬 すだれ滝下流の岩場に自生しているが、小さな高山区で見ることができる。



クジャクチョウ【孔雀蝶】 5～9月 成虫で越冬するので、早春から見ることができる。タンポポに止まるクジャクチョウ。